



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 CKD株式会社

上場取引所 東名

コード番号 6407 URL <http://www.ckd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶本 一典

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 舟橋 典孝

TEL 0568-74-1006

四半期報告書提出予定日 平成26年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	54,913	15.6	5,705	183.7	5,837	173.3	4,016	198.3
25年3月期第3四半期	47,507	△11.6	2,011	△51.9	2,135	△49.9	1,346	△48.3

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 5,780百万円 (460.3%) 25年3月期第3四半期 1,031百万円 (△46.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	64.32	—
25年3月期第3四半期	21.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	82,104	56,009	68.2
25年3月期	71,742	50,852	70.9

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 56,009百万円 25年3月期 50,852百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年3月期	—	8.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	73,000	12.3	7,500	131.2	7,600	116.0	5,000	103.9	80.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	69,429,349 株	25年3月期	69,429,349 株
26年3月期3Q	6,976,488 株	25年3月期	6,976,074 株
26年3月期3Q	62,453,167 株	25年3月期3Q	63,013,071 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
4. 補足情報	8
〔生産、受注及び販売の状況〕	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策と日銀の金融緩和策により、公共投資や個人消費が拡大いたしました。更に、為替が円安に変動したことから自動車などの輸出も回復し、鉱工業生産は緩やかに増加いたしました。また、これらの効果により、企業業績が回復に向かい、製造業の設備投資も増加いたしました。

海外経済は、中国をはじめとするアジア新興国の経済成長の勢いは減速いたしましたものの引き続き安定して成長しております。また、米国は堅調な民間需要を背景に緩やかな回復が続き、欧州も経済成長がプラスに転じるなど景気回復の兆しが見られました。

このような状況のもとで、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高54,913百万円（前年同四半期比15.6%増）、損益面では、営業利益5,705百万円（前年同四半期比183.7%増）、経常利益5,837百万円（前年同四半期比173.3%増）、四半期純利益4,016百万円（前年同四半期比198.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 自動機械部門

主力商品の薬品自動包装システムは、ジェネリック医薬品普及促進と医療用医薬品安全対応に向けた設備投資が堅調に続き、売上が増加いたしました。

一方、産業機械は、EV（電気自動車）の普及が遅れたことから車載用電池の設備投資が見送られ、リチウムイオン電池製造システムの売上が減少いたしました。

その結果、売上高は10,324百万円（前年同四半期比21.2%増）、営業利益は1,298百万円（前年同四半期比122.1%増）となりました。

② 機器部門

国内市場では、主要半導体メーカーの設備投資が増加した影響により半導体製造装置向けの売上が増加いたしました。また、FPD関係もアジアで新工場の建設が進みFPD製造装置向けの売上が増加いたしました。

海外市場では、半導体とFPD関係の設備投資が増加している東アジアと、景気が回復に転じた米国を中心に売上が増加いたしました。

その結果、売上高は44,589百万円（前年同四半期比14.4%増）、営業利益は6,211百万円（前年同四半期比91.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ10,362百万円増加の82,104百万円となりました。これは主に、現金及び預金、売上債権、有価証券並びに有形固定資産が増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ5,205百万円増加の26,095百万円となりました。これは主に、未払従業員賞与の減少があったものの、仕入債務、未払法人税等及び賞与引当金が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ5,156百万円増加の56,009百万円となりました。

自己資本比率につきましては、前連結会計年度末に比べ2.7ポイント減少の68.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は順調に推移いたしました。今後の国内経済は、景気の持続的な回復が期待されるものの、為替レートの変動、欧米の景気動向、新興国の経済成長の減速などの外部リスクにも注視していくことが必要となります。

このような状況から、現時点では通期の予想については、平成25年10月31日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(退職給付制度の改定)

当社は平成25年4月1日付で確定給付企業年金制度及び確定拠出年金制度を改定するとともに、確定給付企業年金制度の一部を確定拠出年金制度に移行し、確定拠出年金制度が退職給付制度に占める割合をこれまでの20%から50%に引き上げております。この移行に伴い、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」(平成14年1月31日 企業会計基準適用指針第1号)及び「退職給付制度間の移行等の会計処理に関する実務上の取扱い」(平成14年3月29日 実務対応報告第2号)を適用し、確定拠出年金制度への移行部分について退職給付制度の一部終了の処理を行い、当第3四半期連結累計期間に特別利益として294百万円を計上しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,322	9,874
受取手形及び売掛金	16,294	18,553
営業未収入金	2,355	2,527
有価証券	3,000	4,000
商品及び製品	3,915	4,082
仕掛品	2,072	2,415
原材料及び貯蔵品	10,192	10,218
その他	2,500	3,353
貸倒引当金	△71	△67
流動資産合計	47,582	54,959
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,178	6,966
その他(純額)	11,164	12,489
有形固定資産合計	18,342	19,455
無形固定資産	823	762
投資その他の資産	4,994	6,927
固定資産合計	24,160	27,145
資産合計	71,742	82,104
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,035	10,002
短期借入金	2,909	2,392
未払法人税等	201	1,404
賞与引当金	73	1,013
その他の引当金	445	496
その他	5,139	5,952
流動負債合計	16,804	21,262
固定負債		
長期借入金	2,161	1,771
引当金	118	145
その他	1,805	2,915
固定負債合計	4,085	4,832
負債合計	20,890	26,095
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,016	11,016
資本剰余金	12,737	12,737
利益剰余金	31,273	34,474
自己株式	△4,832	△4,640
株主資本合計	50,194	53,587
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	622	1,434
為替換算調整勘定	36	988
その他の包括利益累計額合計	658	2,422
純資産合計	50,852	56,009
負債純資産合計	71,742	82,104

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	47,507	54,913
売上原価	34,941	37,894
売上総利益	12,566	17,018
販売費及び一般管理費	10,555	11,313
営業利益	2,011	5,705
営業外収益		
受取利息	10	15
受取配当金	90	86
その他	216	238
営業外収益合計	317	340
営業外費用		
支払利息	55	49
売上割引	83	93
為替差損	—	23
その他	54	41
営業外費用合計	193	208
経常利益	2,135	5,837
特別利益		
固定資産売却益	1	1
投資有価証券売却益	—	2
退職給付制度改定益	—	294
特別利益合計	1	297
特別損失		
固定資産売却損	2	4
固定資産除却損	9	12
特別損失合計	12	16
税金等調整前四半期純利益	2,124	6,118
法人税、住民税及び事業税	277	1,756
法人税等調整額	500	345
法人税等合計	778	2,101
少数株主損益調整前四半期純利益	1,346	4,016
四半期純利益	1,346	4,016

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,346	4,016
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△329	811
為替換算調整勘定	14	951
その他の包括利益合計	△314	1,763
四半期包括利益	1,031	5,780
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,031	5,780
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動機械部門	機器部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,519	38,988	47,507	—	47,507
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	150	150	△150	—
計	8,519	39,138	47,657	△150	47,507
セグメント利益	584	3,246	3,831	△1,819	2,011

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,819百万円には、セグメント間取引消去25百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,845百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにCKDグローバルサービス株式会社に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動機械部門	機器部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,324	44,589	54,913	—	54,913
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	82	82	△82	—
計	10,324	44,671	54,995	△82	54,913
セグメント利益	1,298	6,211	7,510	△1,805	5,705

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,805百万円には、セグメント間取引消去24百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,829百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにCKDグローバルサービス株式会社に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

〔生産、受注及び販売の状況〕

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
自動機械部門	11,047	+15.1
機 器 部 門	44,323	+15.0
合 計	55,370	+15.0

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 金額は、販売価格によっております。
 3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
自動機械部門	9,197	△27.1	7,632	△34.0

- (注) 1. 自動機械部門以外は、需要見込による生産方法をとっております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
自動機械部門	10,324	+21.2
機 器 部 門	44,589	+14.4
合 計	54,913	+15.6

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。